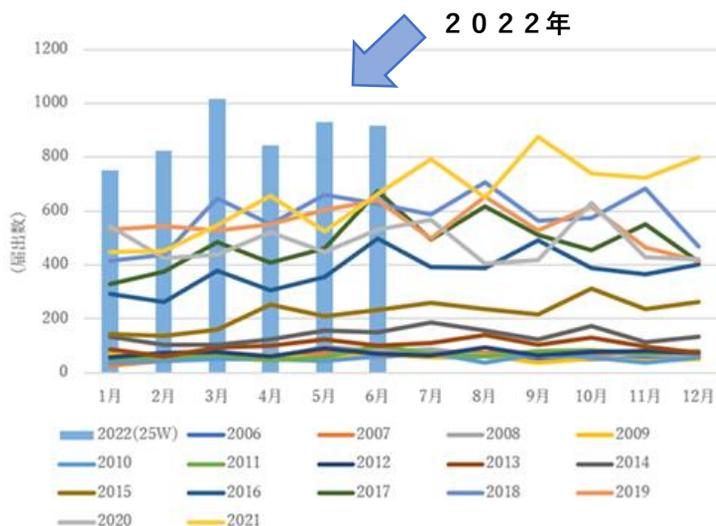




梅毒の流行が止まりません（右記フラフ参照）

梅毒は「偽装の達人」と呼ばれ多彩な症状から色々な科を受診してしまい発見が遅れる

妊婦が感染したまま出産すると胎児が感染（先天性梅毒）、また流産のリスクも



梅毒を止めるために！

血液検査で感染の有無を調べましょう

梅毒の検査

梅毒の病原体であるTreponema pallidumは細菌培養で検出することが難しいため血液検査で感染の有無を調べます
血液検査では、RPRとTP抗体の2種類を検査します

検査方法 RPR (コード1260)

TP抗体 (コード1253)

特徴

感染後早期に陽性化する
治療効果を反映する
生物学的偽陽性がある※1

梅毒特異性が高い
治癒後も抗体価が持続するため治療効果を反映しない

※1 生物学的偽陽性：RPR検査は梅毒に感染すると産生される抗脂質抗体（カルジオリピン・レシチン抗体）を検出するため抗脂質抗体を産生する疾患（SLEなど）では陽性になる場合があります。また、妊婦や高齢者では特別な疾患がなくても陽性となる場合があります。

結果の解釈

RPR	TP抗体	結果解釈
(-)	(-)	非感染 まれに梅毒感染初期
(+)	(-)	生物学的偽陽性 まれに梅毒感染初期
(+)	(+)	梅毒 RPR値が低い場合は治癒後の抗体保有者
(-)	(+)	治癒後の抗体保有者 まれにTP抗原系の偽陽性

原因不明の発疹は梅毒を疑って検査してみませんか

